

平成 30 年度佐久市の取り組みへの
満足度・重要度及び
住みやすさ感・健康感・幸福感
に関する市民アンケート

報 告 書

(平成 30 年 8 月 6 日～9 月 7 日調査)

I	調査の設計	1
II	結果の概要	4
III	質問ごとの内容	22
IV	単純集計	109
V	調査票	118



佐久市

I 調査の設計

1 アンケート調査の目的

社会経済情勢や市民ニーズの変化に対応した行政評価を行い、今後の施策の方向性の判断や事業の選択と集中を進めるために、市民が今までの市の取り組みに満足しているのか、また実施してきた事業等を今後も必要としているのかといった意見や意向を、前回調査（平成 28 年）からの経年変化を踏まえて把握することを目的とする。また、施策の柱の一つとして「世界最高健康都市の構築」を掲げていることから、市民の「住みやすさ感」、「健康感」、「幸福感」に関する意識等を把握することも目的とする。

2 調査の設計

- 調査対象

市内に住所を有する 16 歳以上の男女 1,000 人

- 抽出方法

無作為抽出

- 調査方法

郵送

- 調査期間

平成 30 年 8 月 6 日～9 月 7 日

- 有効回答

516 人（回収率 51.6%） 男性 237 人 女性 279 人

- 集計・分析

一般社団法人長野県世論調査協会

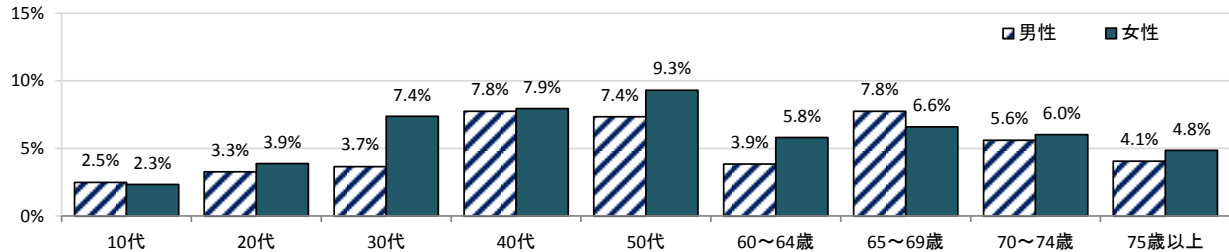
<注> 報告書のパーセント数字は小数点第 2 位を四捨五入。合計が 100 にならない場合がある。

回収サンプルの内訳

【性別と年代】

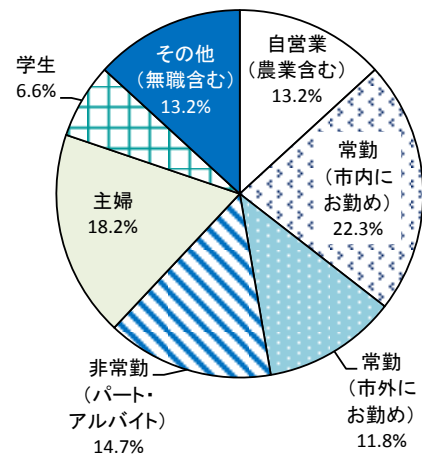
回答者数（人） 回答割合（％）

	合計	10代	20代	30代	40代	50代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	516	25	37	57	81	86	50	74	60	46
	100.0	4.8%	7.2%	11.0%	15.7%	16.7%	9.7%	14.3%	11.6%	8.9%
男性	237	13	17	19	40	38	20	40	29	21
	45.9%	2.5%	3.3%	3.7%	7.8%	7.4%	3.9%	7.8%	5.6%	4.1%
女性	279	12	20	38	41	48	30	34	31	25
	54.1%	2.3%	3.9%	7.4%	7.9%	9.3%	5.8%	6.6%	6.0%	4.8%



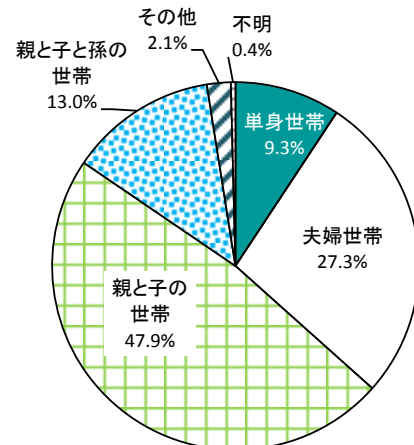
【職業】

自営業（農業含む）	68	13.2%
常勤（市内にお勤め）	115	22.3%
常勤（市外にお勤め）	61	11.8%
非常勤（パート・アルバイト）	76	14.7%
主婦	94	18.2%
学生	34	6.6%
その他（無職含む）	68	13.2%



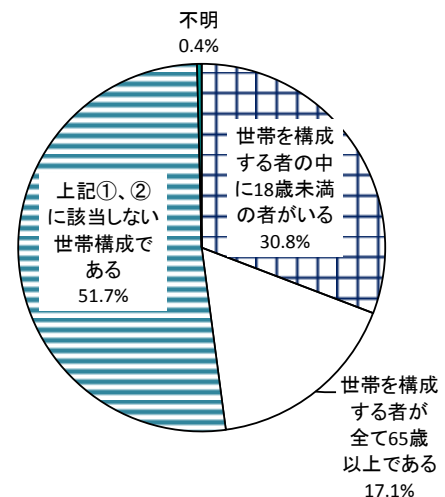
【世帯構成（その1）】

単身世帯	48	9.3%
夫婦世帯	141	27.3%
親と子の世帯	247	47.9%
親と子と孫の世帯	67	13.0%
その他	11	2.1%
不明	2	0.4%



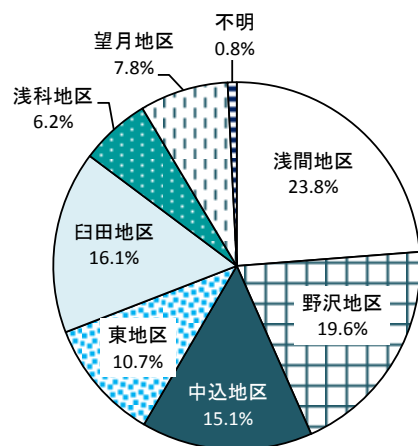
【世帯構成（その2）】

世帯を構成する者の中に18歳未満の者がいる	159	30.8%
世帯を構成する者が全て65歳以上である	88	17.1%
上記①、②に該当しない世帯構成である	267	51.7%
不明	2	0.4%



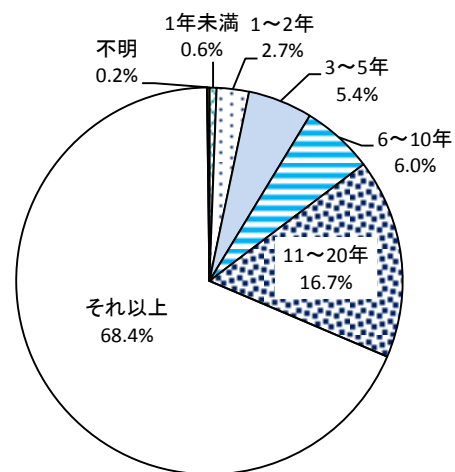
【お住まいの地域】

浅間地区	123	23.8%
野沢地区	101	19.6%
中込地区	78	15.1%
東地区	55	10.7%
臼田地区	83	16.1%
浅科地区	32	6.2%
望月地区	40	7.8%
不明	4	0.8%



【佐久市の在住年数】

1年未満	3	0.6%
1～2年	14	2.7%
3～5年	28	5.4%
6～10年	31	6.0%
11～20年	86	16.7%
それ以上	353	68.4%
不明	1	0.2%



Ⅱ 結果の概要

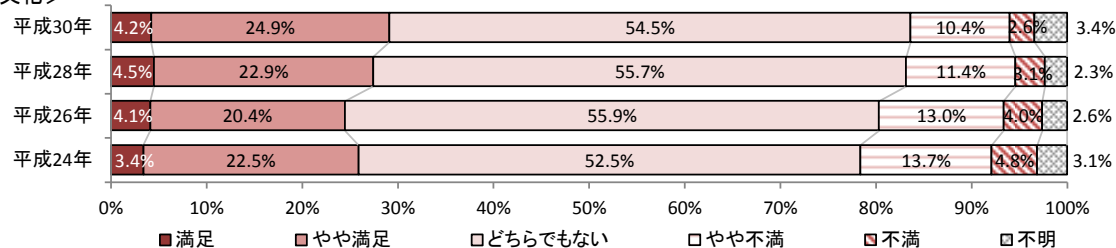
▽佐久市の主要施策への満足度・重要度

施策の分野別満足度

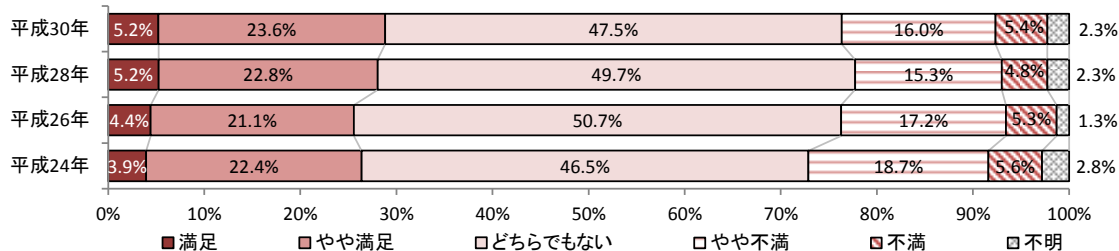
施策の満足度を7分野、49項目について分野ごとに集計した。「満足」「やや満足」の回答が多いのは「環境」の31.7%で、2番目に多かったのは「防災・安全」の31.5%。前回調査までと設問の名称と分野に変更があるため、一概には比較できない（8ページの表）。

「不満」「やや不満」の回答が多かったのは「土地利用・都市基盤」の21.4%。

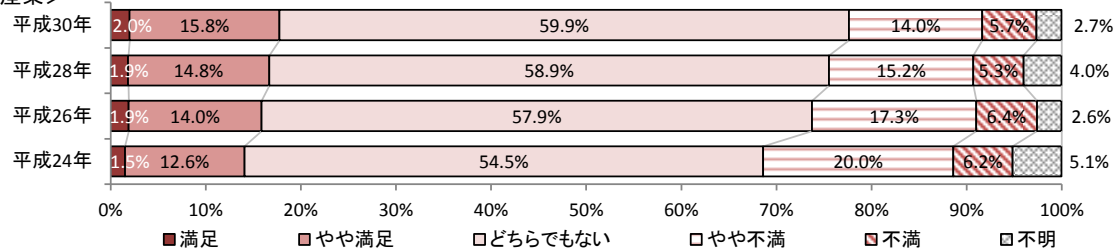
<教育・文化>



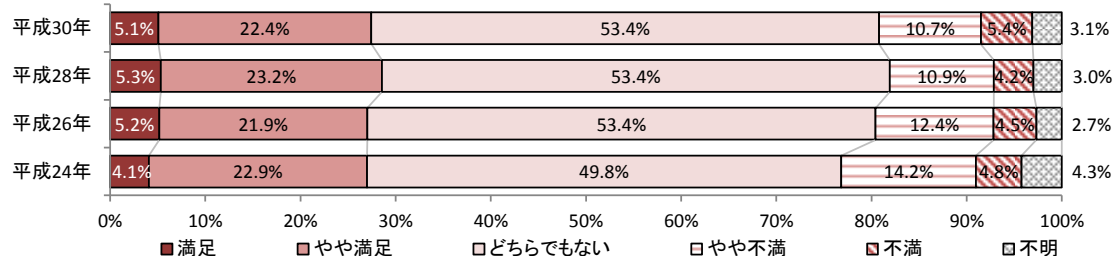
<土地利用・都市基盤>



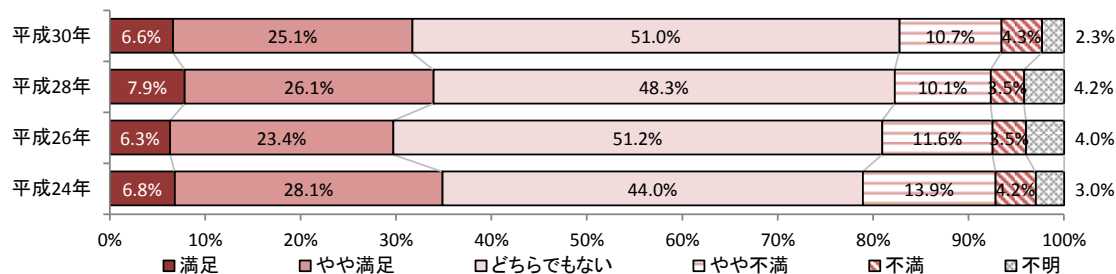
<経済・産業>



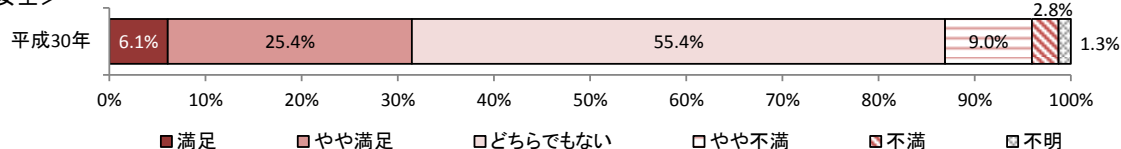
<保健・医療・福祉>



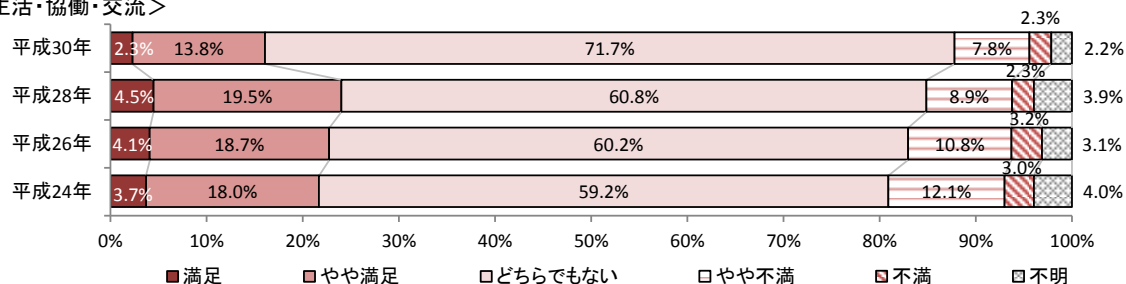
<環境>



<防災・安全>



<市民生活・協働・交流>

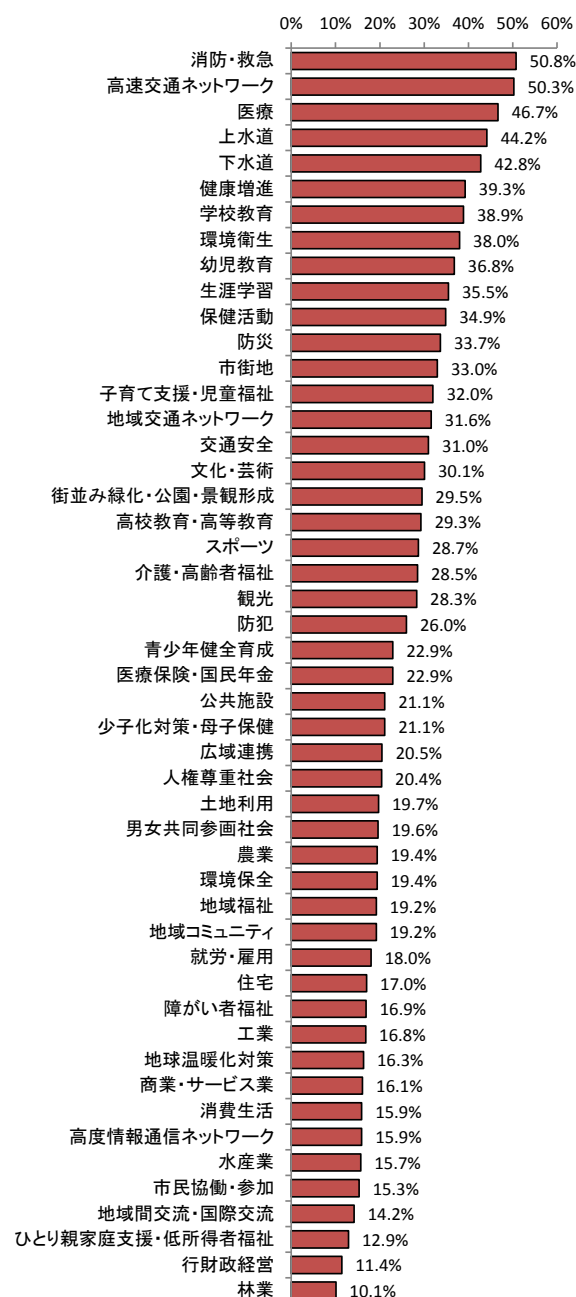
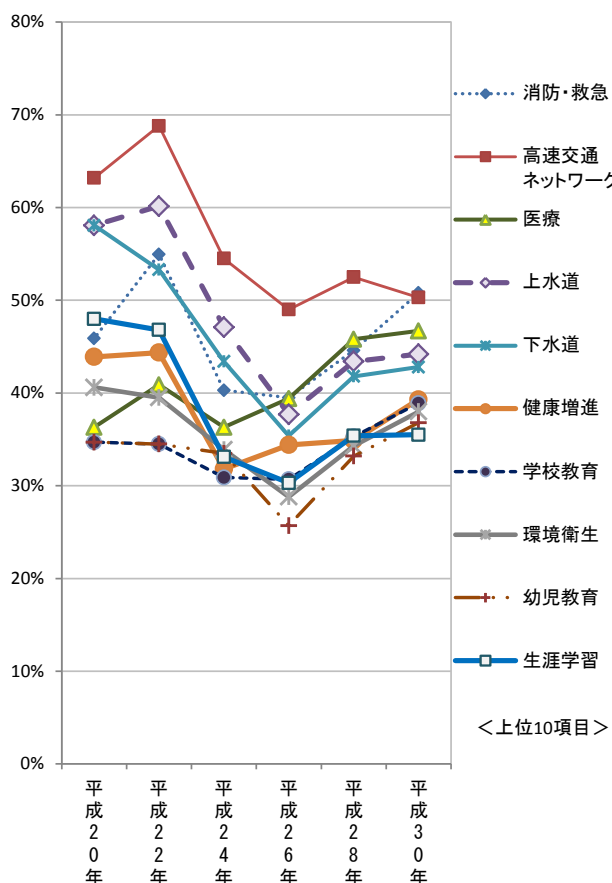


(注) グラフのパーセント数字は各分野に含まれる全項目の平均。6 ページの分野別重要度も同様。

個別施策の満足度

各施策の満足度で最も高かったのは「消防・救急」で、「満足」と「やや満足」を合わせて 50.8%。2 番目以降は「高速交通ネットワーク」、「医療」、「上水道」、「下水道」と続く。

◆個別施策満足度の推移

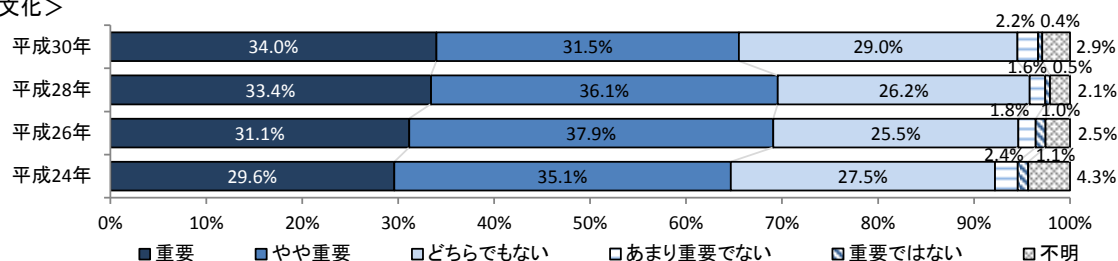


(注) グラフのパーセント数字は「満足」と「やや満足」の合計

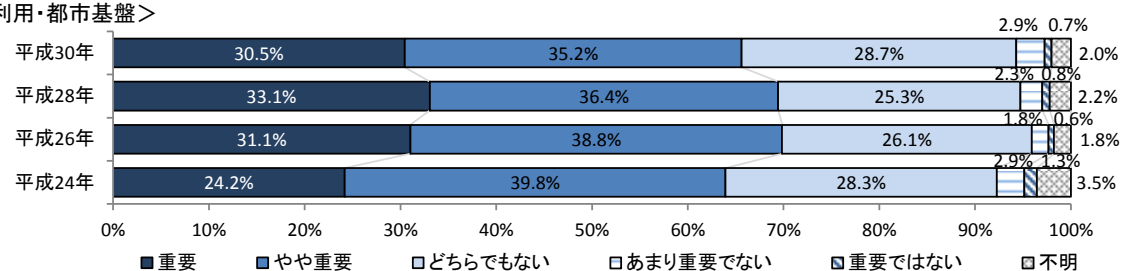
施策の分野別重要度

施策の重要度について分野別集計で「重要」「やや重要」が最も高かったのは「保健・医療・福祉」の74.8%。「防災・安全」が73.6%、「環境」が71.4%で続く。満足度と同様に、前回調査と設問の名称と分野に変更があるため一概に比較できない。

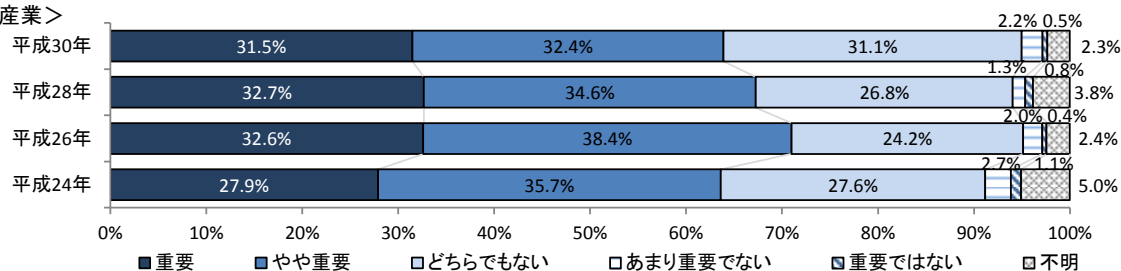
<教育・文化>



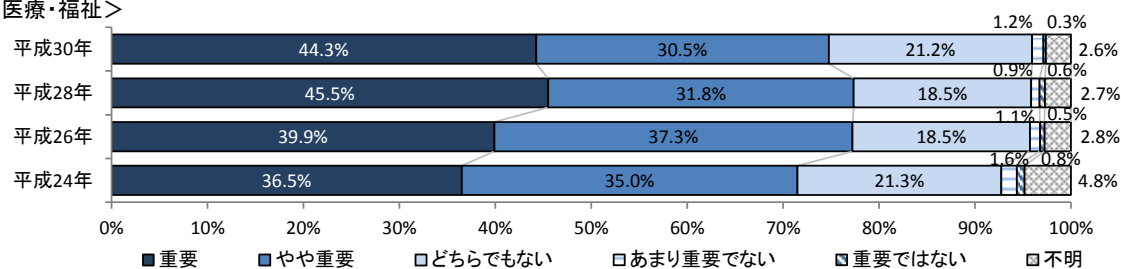
<土地利用・都市基盤>



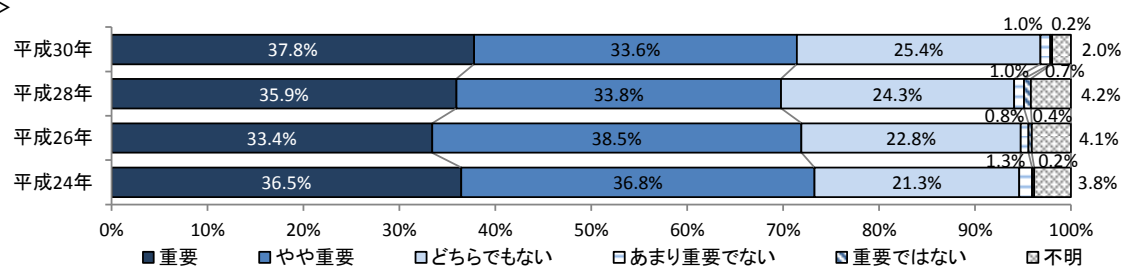
<経済・産業>



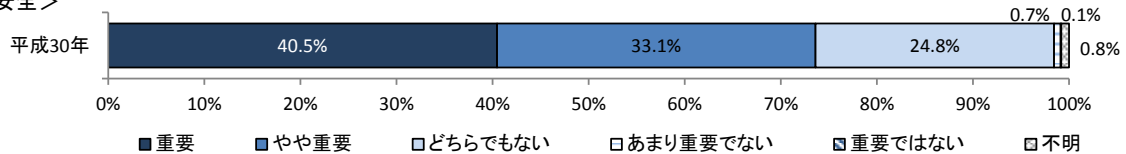
<保健・医療・福祉>



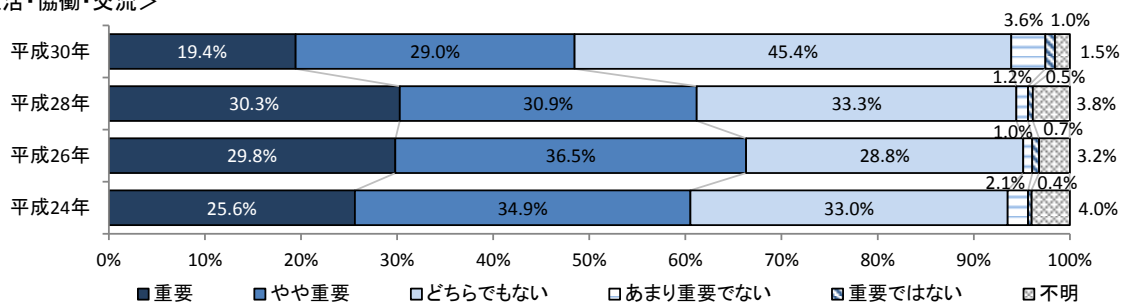
<環境>



<防災・安全>



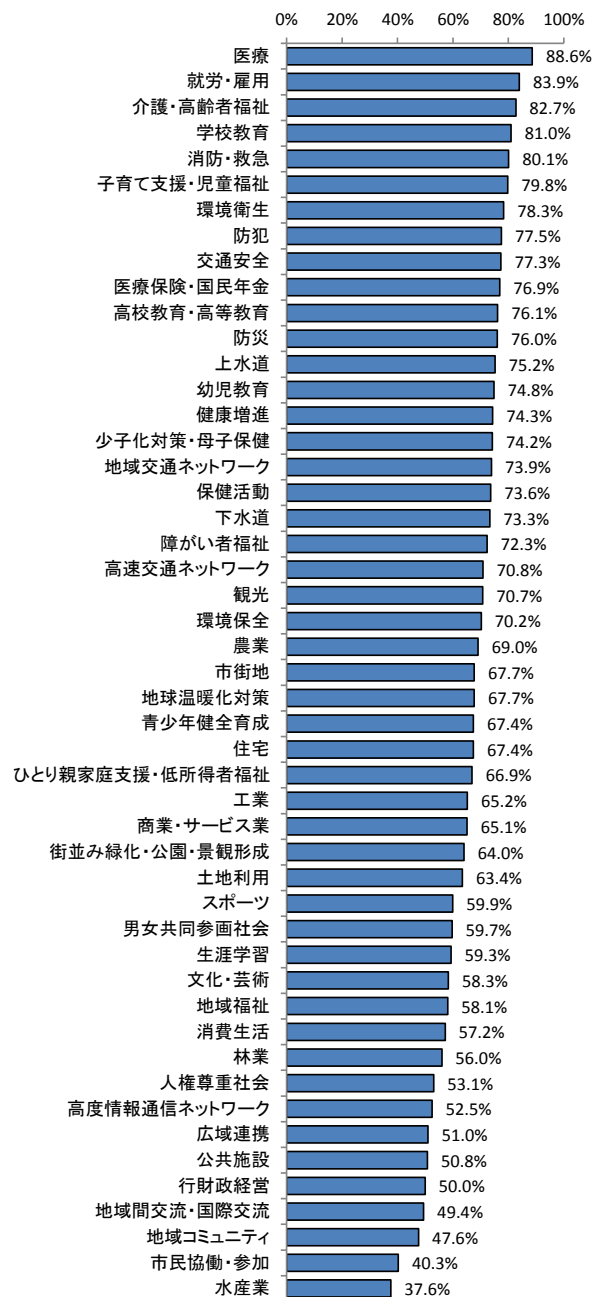
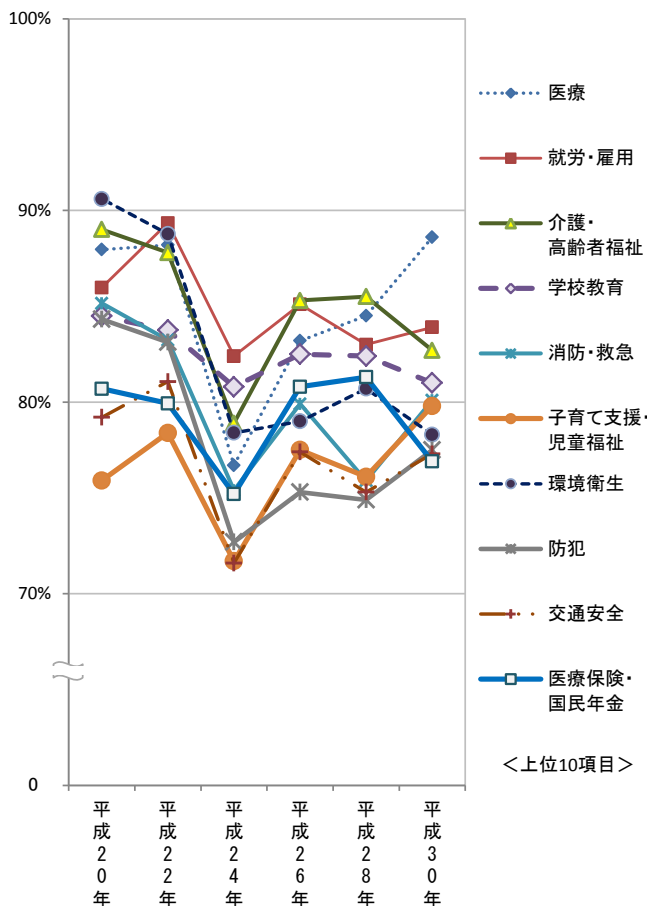
<市民生活・協働・交流>



個別施策の重要度

施策の重要度が最も高かったのは「医療」の88.6%。次いで「就労・雇用」が83.9%、「介護・高齢者福祉」が82.7%、「学校教育」が81.0%と続く。前回調査から「医療」が4.1ポイント上昇して順位を一つ上げた。

◆個別施策重要度の推移



(注) グラフのパーセント数字は「重要」と「やや重要」の合計

施策の分野と項目（前回との比較）

	今回	前回(平成28年度)
教育・文化	問8-1 幼児教育	問8-5 幼児教育
	問8-2 学校教育	問8-6 学校教育
	問8-3 高校教育・高等教育	問8-7 高校教育・高等教育
	問8-4 青少年健全育成	問8-8 青少年の健全育成
	問8-5 文化・芸術	問8-1 文化・芸術
	問8-6 生涯学習	問8-9 生涯学習
	問8-7 スポーツ	問8-10 スポーツ
	問8-8 人権尊重社会	問8-3 人権尊重社会
	問8-9 男女共同参画社会	問8-4 男女共同参画社会
都市土地利用・基盤	問9-1 土地利用	問9-3 土地利用
	問9-2 市街地	問9-4 市街地
	問9-3 公共施設	問13-8 公共施設
	問9-4 住宅	問9-5 住宅・宅地
	問9-5 高速交通ネットワーク	問9-1 高速交通ネットワーク
	問9-6 地域交通ネットワーク	問9-2 地域交通ネットワーク
経済・産業	問10-1 農業	問10-1 農業
	問10-2 林業	問10-3 林業
	問10-3 水産業	問10-2 水産業
	問10-4 商業・サービス業	問10-4 商業・サービス業
	問10-5 観光	問10-5 観光
	問10-6 工業	問10-6 工業
	問10-7 就労・雇用	問10-7 就労・雇用
保健・医療・福祉	問11-1 健康増進	問11-5 健康増進
	問11-2 保健活動	問11-6 保健活動
	問11-3 医療	問11-7 医療
	問11-4 医療保険・国民年金	問11-8 医療保険・国民年金
	問11-5 地域福祉	問11-1 福祉のまちづくり
	問11-6 介護・高齢者福祉	問11-2 高齢者福祉・介護保険
	問11-7 障がい者福祉	問11-3 障がい者福祉
	問11-8 ひとり親家庭支援・低所得者福祉	問11-4 母子父子福祉・低所得者福祉
	問11-9 少子化対策・母子保健	問11-9 母子保健
	問11-10 子育て支援・児童福祉	問11-10 子育て支援・児童福祉
環境	問12-1 環境保全	問12-1 環境保全
	問12-2 街並み緑化・公園・景観形成	問12-2 街並み緑化・公園・景観形成
	問12-3 地球温暖化対策	
	問12-4 環境衛生	問12-3 環境衛生
	問12-5 上水道	問12-4 上水道
	問12-6 下水道	問12-5 下水道
防災・安全	問13-1 防災	問13-1 防災
	問13-2 消防・救急	問13-2 消防・救急
	問13-3 交通安全	問13-3 交通安全
	問13-4 防犯	問13-4 防犯
	問13-5 消費生活	問13-5 消費生活
市民生活・交流・協働	問14-1 市民協働・参加	問13-6 協働のまちづくり
	問14-2 地域コミュニティ	問13-7 コミュニティの育成
	問14-3 行財政経営	問13-9 行財政
	問14-4 高度情報通信ネットワーク	問9-6 高度情報通信ネットワーク
	問14-5 地域間交流・国際交流	問8-2 地域間交流・国際交流
	問14-6 広域連携	問13-10 広域連携

各施策の満足度・重要度の平均値比較

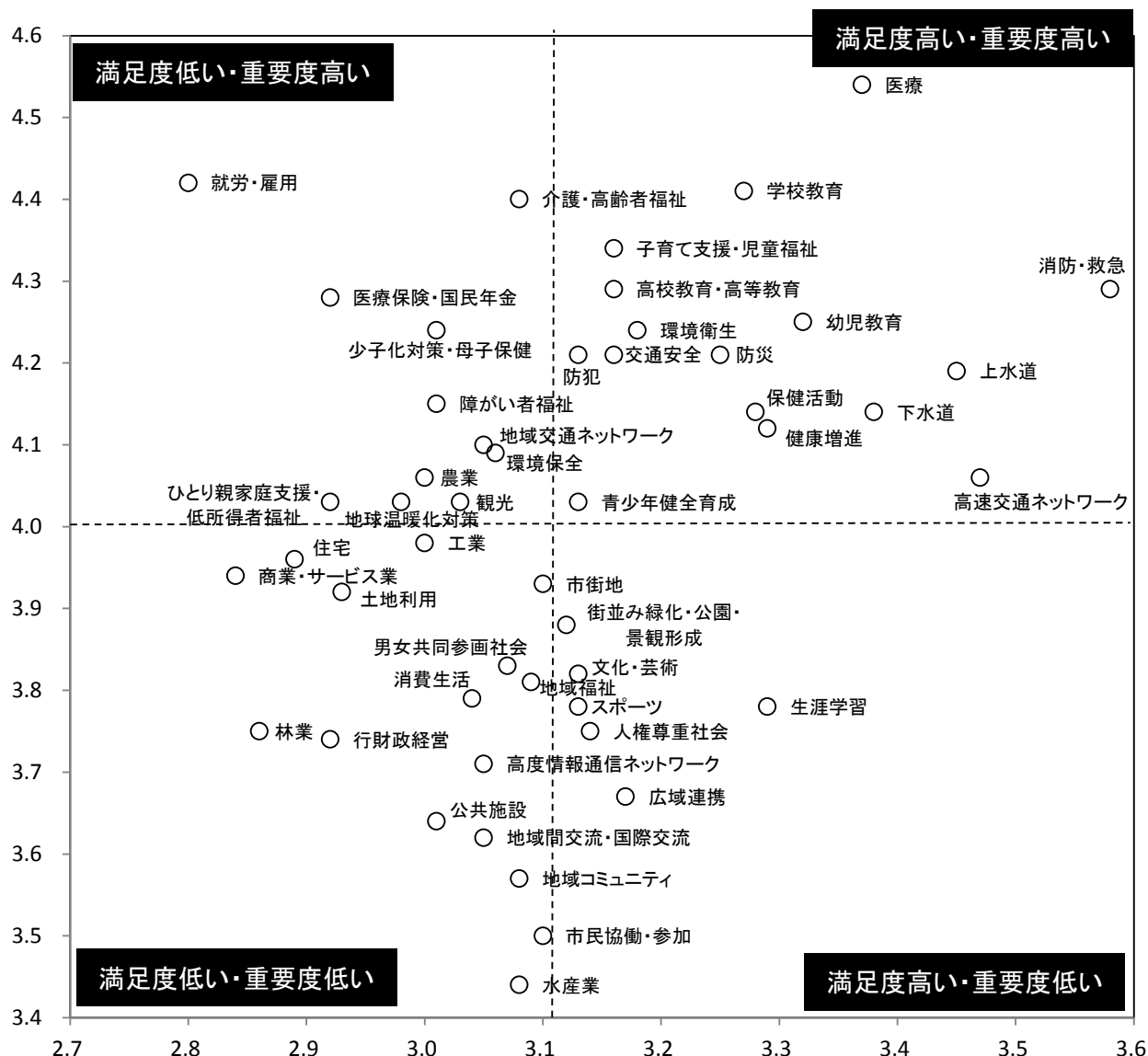
下の図は各施策の満足度・重要度を得点化し、全回答者の平均値をプロットしたもので、点線は全質問の平均値（満足度 3.11、重要度 4.01）を表している。

4 分割されているグラフの向かって右上が満足度・重要度がともに高い項目で、左上は満足度が低く重要度が高い項目、右下は満足度は高いが重要度が低い項目、左下は満足度、重要度ともに低い項目である。

最も満足度が高いのは「消防・救急」の平均点 3.58 で、以下「高速交通ネットワーク」（3.47）、「上水道」（3.45）、「下水道」（3.38）、「医療」（3.37）と続く。満足度が低かったのは「就労・雇用」（2.80）、「商業・サービス業」（2.84）、「林業」（2.86）、「住宅」（2.89）。

重要度では「医療」が 4.54 で最も高く、「就労・雇用」（4.42）、「学校教育」（4.41）、「介護・高齢者福祉」（4.40）と続く。重要度が低かったのは「水産業」（3.44）、「市民協働・参加」（3.50）、「地域コミュニティ」（3.57）だった。

（注）「満足」を 5 点、「やや満足」を 4 点、「どちらでもない」を 3 点、「やや不満」を 2 点、「不満」を 1 点として平均点を集計した。



各施策の平均値

<満足度>	平成 30年	平成 28年	平成 26年	平成 24年	平成 22年	平成 20年	
消防・救急	3.58	3.52	3.39	3.40	3.46	3.25	*1
高速交通ネットワーク	3.47	3.46	3.40	3.45	3.75	3.68	
上水道	3.45	3.47	3.38	3.45	3.59	3.50	*2
下水道	3.38	3.42	3.31	3.37	3.37	3.50	*2
医療	3.37	3.33	3.23	3.11	2.93	2.75	*3
幼児教育	3.32	3.21	3.04	3.13	2.79	2.82	*5
生涯学習	3.29	3.32	3.25	3.25	3.33	3.39	
健康増進	3.29	3.32	3.31	3.25	3.25	3.21	*4
保健活動	3.28	3.19	3.30	3.23			
学校教育	3.27	3.16	3.14	3.02	2.79	2.82	*5
防災	3.25	3.26	3.25	3.13	3.46	3.25	*1
環境衛生	3.18	3.18	3.08	3.16	2.82	2.81	*7
広域連携	3.17	3.24	3.07	3.04			
高校教育・高等教育	3.16	3.02	3.03	2.99			
子育て支援・児童福祉	3.16	3.20	3.13	3.20	3.30	3.39	*6
交通安全	3.16	3.16	3.07	3.16	3.18	3.15	
人権尊重社会	3.14	3.15	3.09	3.08	3.14	3.10	*9
青少年健全育成	3.13	3.15	3.06	3.04	2.97	2.98	
文化・芸術	3.13	3.12	2.93	2.99	3.02	3.10	
スポーツ	3.13	3.17	3.15	3.02	3.04	3.11	
防犯	3.13	3.10	3.05	3.07	2.93	2.86	
街並み緑化・公園・景観形成	3.12	3.17	3.10	2.93	2.84	2.85	*8
市街地	3.10	2.99	2.94	2.80	2.91	2.96	*16
市民協働・参加	3.10	3.10	3.15	3.10	3.16	3.12	*21
地域福祉	3.09	3.10	3.00	3.07	3.03	2.96	*19
水産業	3.08	3.08	3.08	3.01	3.19	2.80	*13
介護・高齢者福祉	3.08	3.09	2.97	3.00	2.79	2.83	*12
地域コミュニティ	3.08	3.08	3.05	3.05			*22
男女共同参画社会	3.07	3.10	3.03	3.10	2.93		
環境保全	3.06	3.05	3.04	3.07	2.90	2.71	*15
地域交通ネットワーク	3.05	2.97	3.03	3.06	2.72	2.74	
高度情報通信ネットワーク	3.05	3.10	3.02	3.01	3.16	3.09	*10
地域間交流・国際交流	3.05	3.07	3.04	3.01	3.03	3.15	
消費生活	3.04	3.10	3.09	3.04	2.94	2.84	*11
観光	3.03	3.03	2.89	2.85	2.65	2.90	
公共施設	3.01	3.09	3.02	2.93			
障がい者福祉	3.01	3.06	3.01	2.99	2.84	2.85	
少子化対策・母子保健	3.01	3.22	3.24	3.14			*20
農業	3.00	3.01	2.92	2.93	2.44	2.41	
工業	3.00	2.98	2.86	2.82	2.56	2.75	
地球温暖化対策	2.98						
土地利用	2.93	2.99	2.87	2.82			
医療保険・国民年金	2.92	3.07	3.01	2.82	2.91	2.74	*14
ひとり親家庭支援・低所得者福祉	2.92	2.92	2.91	2.94	2.75	2.75	*17
行財政経営	2.92	2.92	2.87	2.84	2.64	2.57	*23
住宅	2.89	3.01	2.88	2.88	2.91	2.96	*16
林業	2.86	2.85	2.88	2.84	2.57	2.80	*13
商業・サービス業	2.84	2.87	2.85	2.86	2.50	2.55	
就労・雇用	2.80	2.67	2.64	2.46	2.03	2.26	*18

- *1 平成22年は「防災・消防」と聞いた
- *2 平成20年は「上水道、下水道」と聞いた
- *3 平成22年は「地域医療」と聞いた
- *4 平成22年は「健康づくり」と聞いた
- *5 平成22年は「学校教育・幼児教育」と聞いた
- *6 平成22年は「子育て支援」と聞いた
- *7 平成22年は「ごみ・リサイクル」と聞いた
- *8 平成22年は「街並み・景観」と聞いた
- *9 平成20年は「差別のない社会」と聞いた
- *10 平成22年は「情報化」と聞いた
- *11 平成22年は「消費者生活」と聞いた
- *12 平成22年は「高齢者の福祉」、平成24年・26年・28年は「高齢者福祉・介護保険」と聞いた

- *13 平成20年は「林業・水産業」と聞いた
- *14 平成22年は「国民健康保険」と聞いた
- *15 平成20年は「自然環境・生活環境」と聞いた
- *16 平成22年は「市街地・住宅地」、平成24年・26年・28年は「住宅・宅地」と聞いた
- *17 平成22年は「一人親家庭・低所得者の福祉」、平成24年は「母子父子福祉」、平成26年と28年は「母子父子福祉・低所得者福祉」と聞いた
- *19 平成28年は「福祉のまちづくり」と聞いた
- *18 平成22年は「働く機会・働く環境」と聞いた
- *20 平成24年・26年・28年は「母子保健」と聞いた
- *21 平成20年・22年・24年・26年・28年は「協働のまちづくり」と聞いた
- *22 平成24年・26年・28年は「コミュニティの育成」と聞いた
- *23 平成20年・22年・24年・26年・28年は「行財政」と聞いた

＜重要度＞	平成 30年	平成 28年	平成 26年	平成 24年	平成 22年	平成 20年	
医療	4.54	4.44	4.31	4.27	4.57	4.74	*3
就労・雇用	4.42	4.42	4.39	4.38	4.64	4.57	*18
学校教育	4.41	4.39	4.34	4.39	4.48	4.55	*5
介護・高齢者福祉	4.40	4.43	4.40	4.29	4.52	4.59	*12
子育て支援・児童福祉	4.34	4.29	4.18	4.10	4.21	4.32	*6
高校教育・高等教育	4.29	4.32	4.22	4.25			
消防・救急	4.29	4.24	4.25	4.21	4.44	4.46	*1
医療保険・国民年金	4.28	4.36	4.28	4.24	4.32	4.49	*14
幼児教育	4.25	4.30	4.23	4.25	4.48	4.55	*5
少子化対策・母子保健	4.24	4.08	4.04	4.07			*20
環境衛生	4.24	4.32	4.19	4.21	4.52	4.62	*7
防災	4.21	4.21	4.26	4.14	4.44	4.46	*1
交通安全	4.21	4.24	4.17	4.09	4.31	4.29	
防犯	4.21	4.22	4.18	4.10	4.38	4.43	
上水道	4.19	4.20	4.15	4.27	4.36	4.36	*2
障がい者福祉	4.15	4.24	4.20	4.14	4.36	4.33	
保健活動	4.14	4.15	4.16	3.95			
下水道	4.14	4.16	4.12	4.15	4.34	4.36	*2
健康増進	4.12	4.03	3.97	3.88	4.00	4.25	*4
地域交通ネットワーク	4.10	4.17	4.18	4.00	4.22	4.27	
環境保全	4.09	3.82	4.03	4.07	4.31	4.51	*15
高速交通ネットワーク	4.06	4.18	4.19	4.00	4.09	4.27	
農業	4.06	4.09	4.15	4.00	4.40	4.42	
青少年健全育成	4.03	4.02	3.95	4.08	4.26	4.42	
観光	4.03	4.04	4.09	3.88	3.98	3.95	
ひとり親家庭支援・低所得者福祉	4.03	4.10	4.01	3.90	4.15	4.18	*17
地球温暖化対策	4.03						
工業	3.98	4.06	4.09	4.02	4.18	4.14	
住宅	3.96	3.94	3.88	3.79	3.82	3.88	*16
商業・サービス業	3.94	4.01	4.02	3.86	4.15	4.19	
市街地	3.93	4.06	4.08	3.80	3.82	3.88	*16
土地利用	3.92	3.87	3.87	3.80			
街並み緑化・公園・景観形成	3.88	3.89	3.93	3.91	4.05	4.12	*8
男女共同参画社会	3.83	4.02	4.05	3.91	3.94		
文化・芸術	3.82	3.80	3.91	3.75	3.56	3.93	
地域福祉	3.81	4.30	4.28	4.16	4.18	4.35	*19
消費生活	3.79	3.91	3.96	3.80	4.12	4.20	*11
生涯学習	3.78	3.89	3.78	3.77	3.78	4.01	
スポーツ	3.78	3.89	3.78	3.76	3.85	3.90	
人権尊重社会	3.75	3.83	3.80	3.69	3.76	3.97	*9
林業	3.75	3.89	3.87	3.77	4.16	3.97	*13
行財政経営	3.74	3.91	3.97	3.87	4.43	4.55	*23
高度情報通信ネットワーク	3.71	3.83	3.79	3.74	3.84	3.68	*10
広域連携	3.67	3.75	3.78	3.56			
公共施設	3.64	3.71	3.74	3.69			
地域間交流・国際交流	3.62	3.79	3.84	3.51	3.55	3.90	
地域コミュニティ	3.57	3.60	3.67	3.57			*22
市民協働・参加	3.50	3.50	3.69	3.65	3.79	3.89	*21
水産業	3.44	3.55	3.61	3.47	3.59	3.97	*13

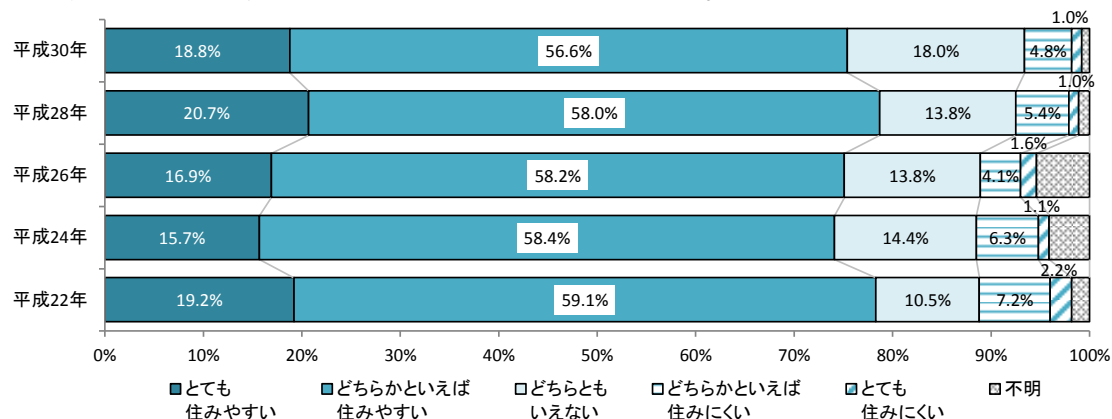
- *1 平成22年は「防災・消防」と聞いた
- *2 平成20年は「上水道、下水道」と聞いた
- *3 平成22年は「地域医療」と聞いた
- *4 平成22年は「健康づくり」と聞いた
- *5 平成22年は「学校教育・幼児教育」と聞いた
- *6 平成22年は「子育て支援」と聞いた
- *7 平成22年は「ごみ・リサイクル」と聞いた
- *8 平成22年は「街並み・景観」と聞いた
- *9 平成20年は「差別のない社会」と聞いた
- *10 平成22年は「情報化」と聞いた
- *11 平成22年は「消費者生活」と聞いた
- *12 平成22年は「高齢者の福祉」、平成24年・26年・28年は「高齢者福祉・介護保険」と聞いた

- *13 平成20年は「林業・水産業」と聞いた
- *14 平成22年は「国民健康保険」と聞いた
- *15 平成20年は「自然環境・生活環境」と聞いた
- *16 平成22年は「市街地・住宅地」、平成24年・26年・28年は「住宅・宅地」と聞いた
- *17 平成22年は「一人親家庭・低所得者の福祉」、平成24年は「母子父子福祉」、平成26年と28年は「母子父子福祉・低所得者福祉」と聞いた
- *18 平成22年は「働く機会・働く環境」と聞いた
- *19 平成28年は「福祉のまちづくり」と聞いた
- *20 平成24年・26年・28年は「母子保健」と聞いた
- *21 平成20年・22年・24年・26年・28年は「協働のまちづくり」と聞いた
- *22 平成24年・26年・28年は「コミュニティの育成」と聞いた
- *23 平成20年・22年・24年・26年・28年は「行財政」と聞いた

▽「世界最高健康都市の構築」に向けて

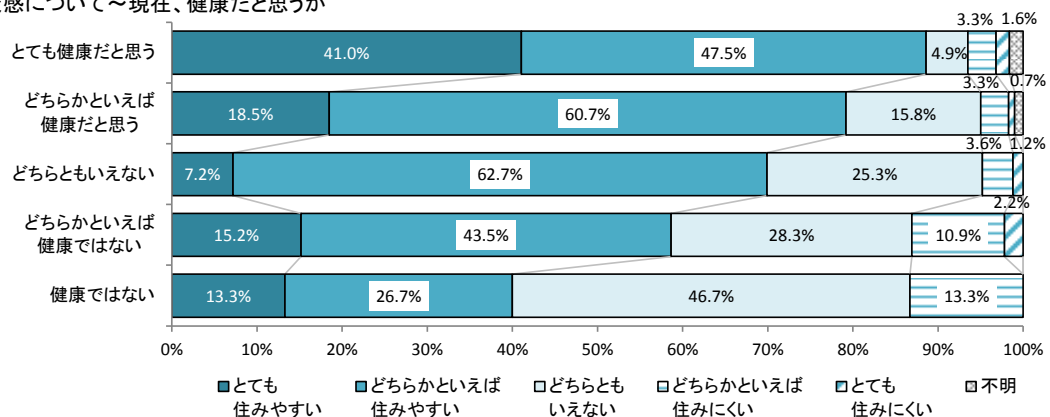
佐久市の住みやすさ

佐久市を「とても住みやすい」と答えたのは18.8%。「どちらかといえば住みやすい」の56.6%と合わせて75.4%で、全体の4人に3人が「住みやすい」と評価している。前回調査と比べて「住みやすい」は3.3ポイント減少しているが、過去4回調査とほぼ同様の傾向。「とても住みにくい」は1.0%、「どちらかといえば住みにくい」は4.8%で合わせて5.8%で、平成26年調査（5.7%）と並んで低かった。



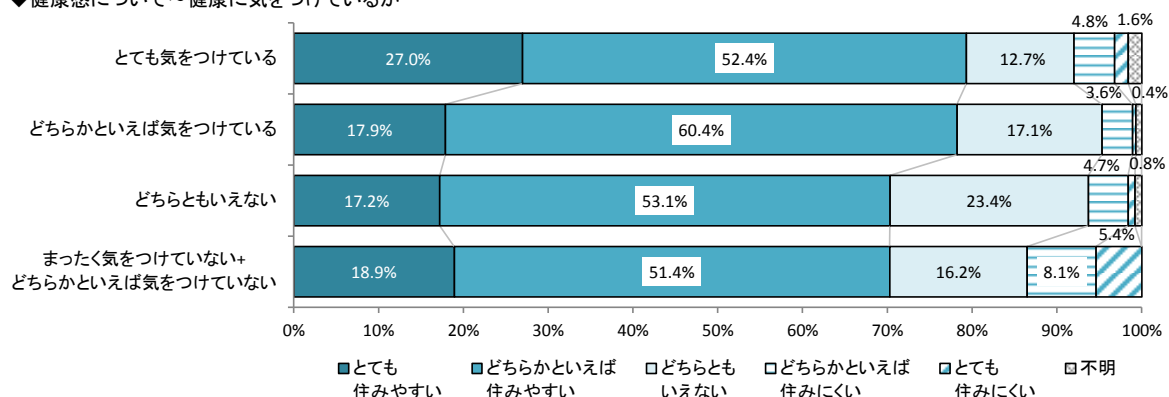
健康状態との比較では、自分を「とても健康だと思う」と回答した人（61人）は「とても住みやすい」が41.0%と高い。

◆健康感について～現在、健康だと思うか



健康に「とても気をつけている」（63人）、「どちらかといえば気をつけている」（280人）と回答した人は「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計が78～79%と高め。

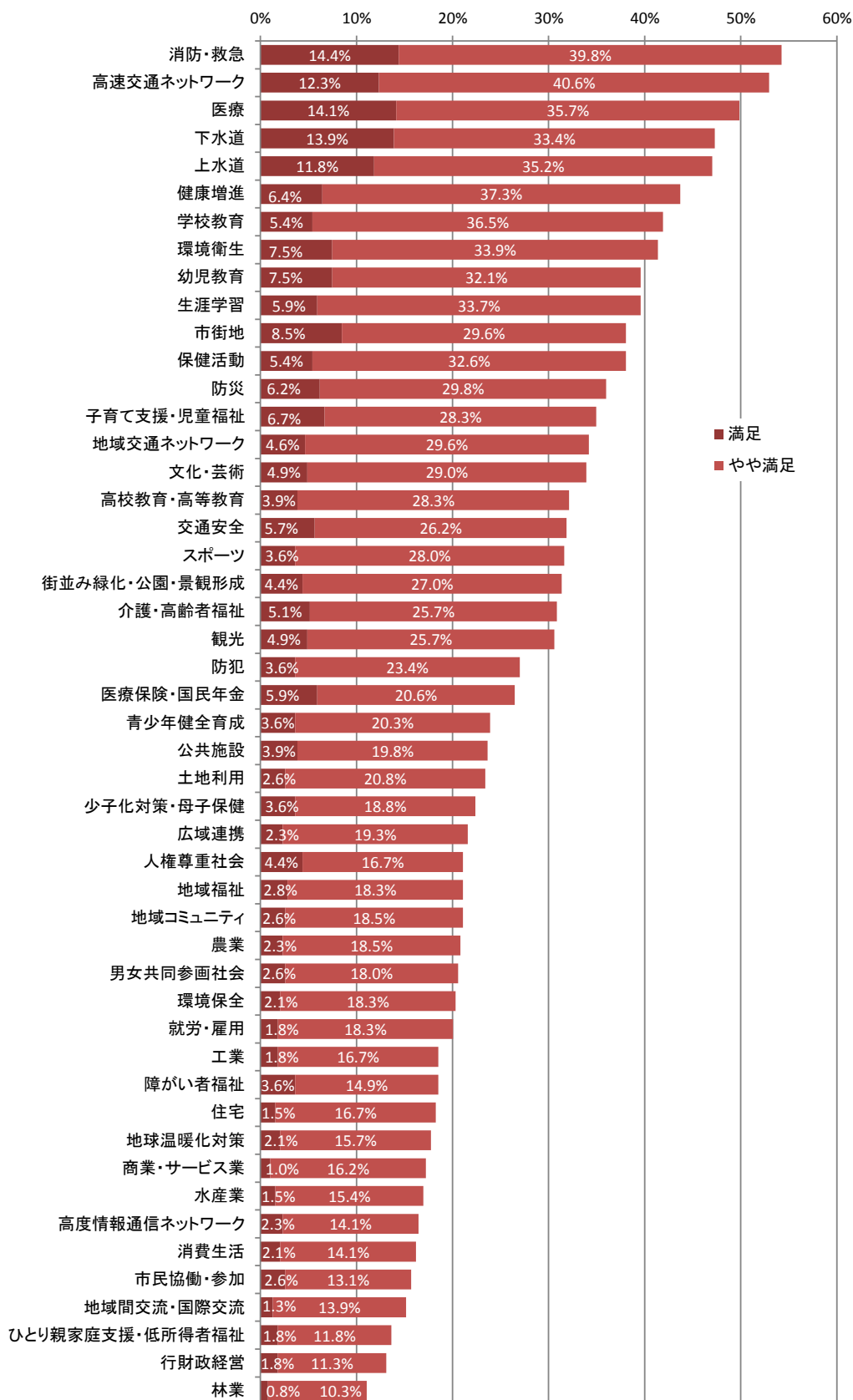
◆健康感について～健康に気をつけているか



施策と住みやすさの相関

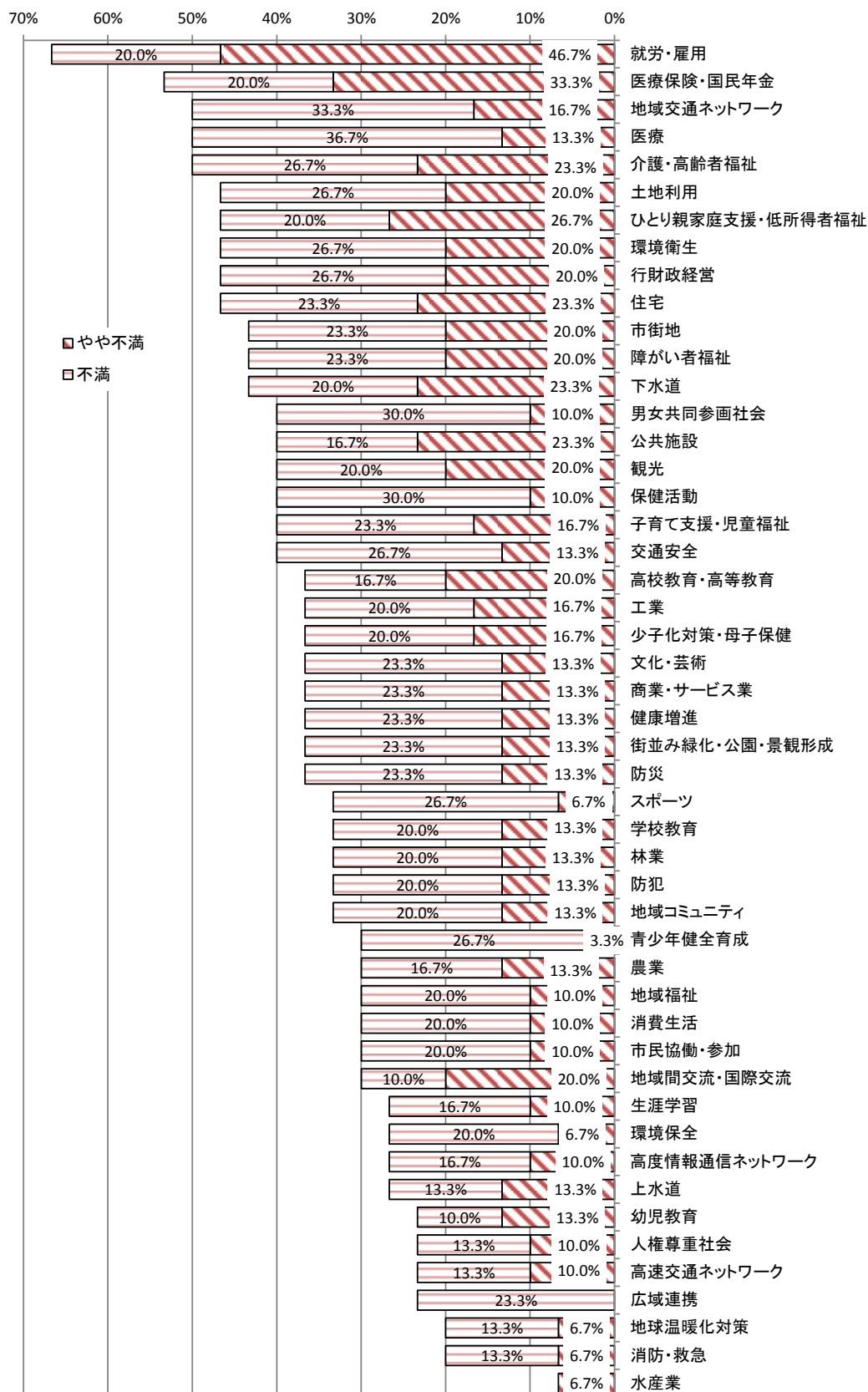
住みやすい（「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）と答えた人の評価が高い施策

「満足」「やや満足」の回答率が高い順



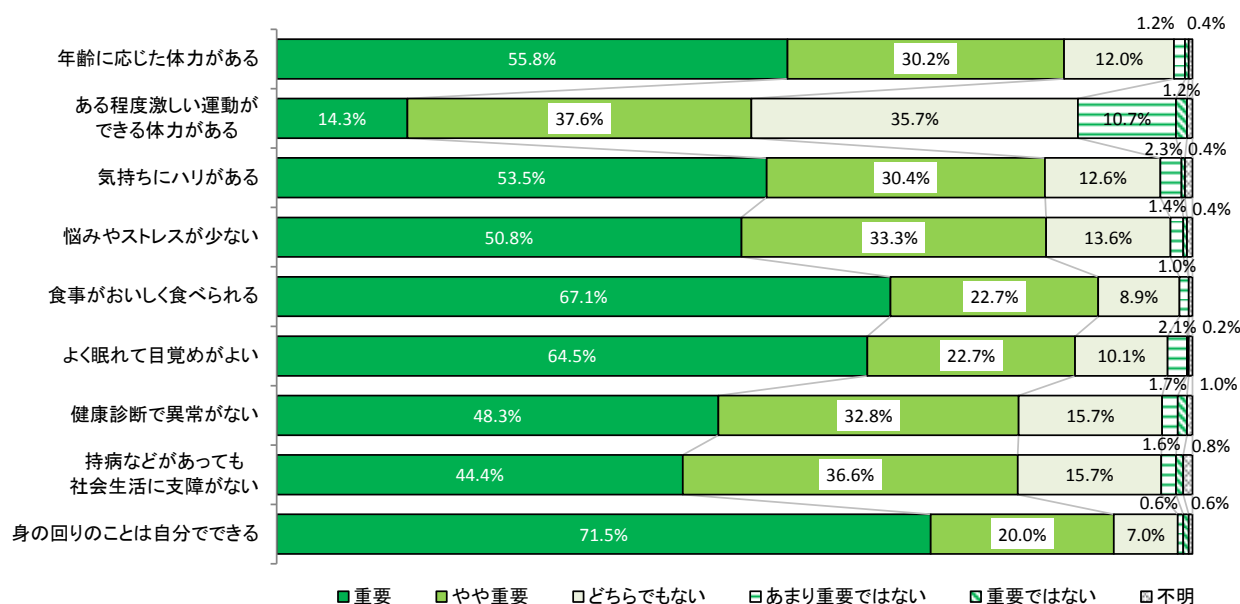
住みにくい（「とても住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計）と答えた人の評価が低い施策

「不満」「やや不満」の回答率が高い順

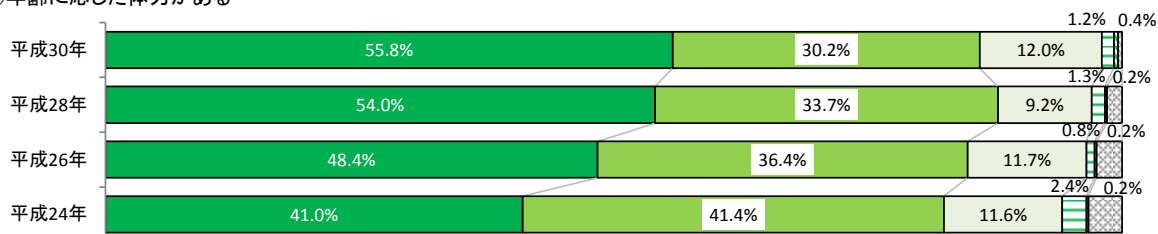


健康上重要だと思うこと

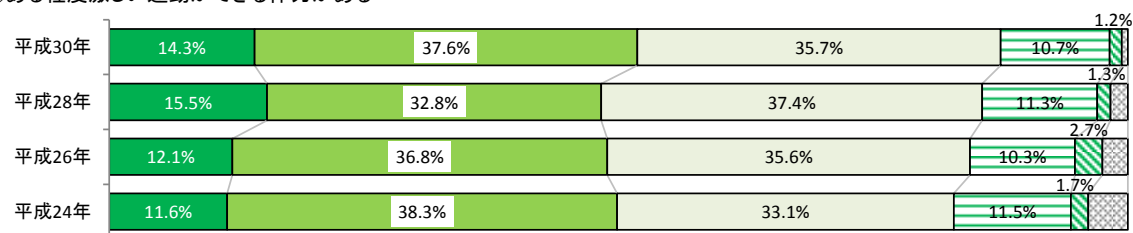
健康の状態をイメージするとき重要だと思うことは何か、9項目で尋ねた。「重要」と「やや重要」の合計が最も高かったのは「身の回りのことは自分でできる」の91.5%で、2番目は「食事がおいしく食べられる」の89.8%。3番目以降は「よく眠れて目覚めがよい」(87.2%)、「年齢に応じた体力がある」(86.0%)、「悩みやストレスが少ない」(84.1%)、「気持ちにハリがある」(83.9%)と続く。前回調査と比べて大きな変動はみられない。



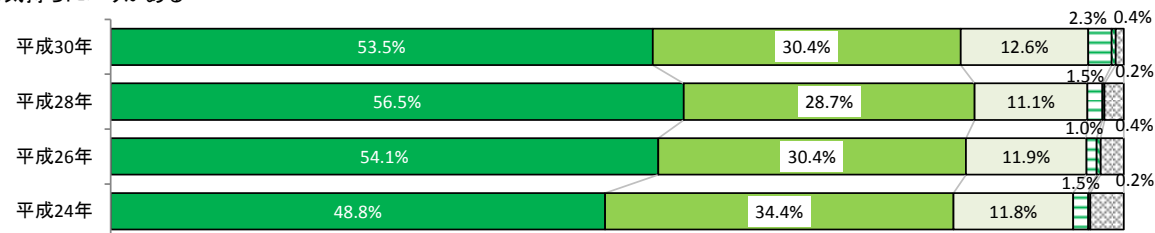
①年齢に応じた体力がある



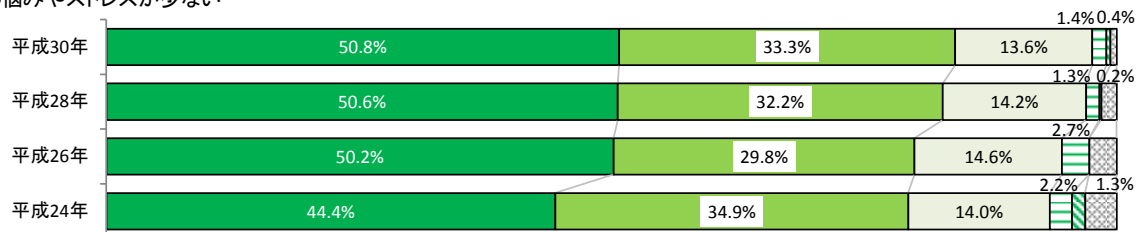
②ある程度激しい運動ができる体力がある



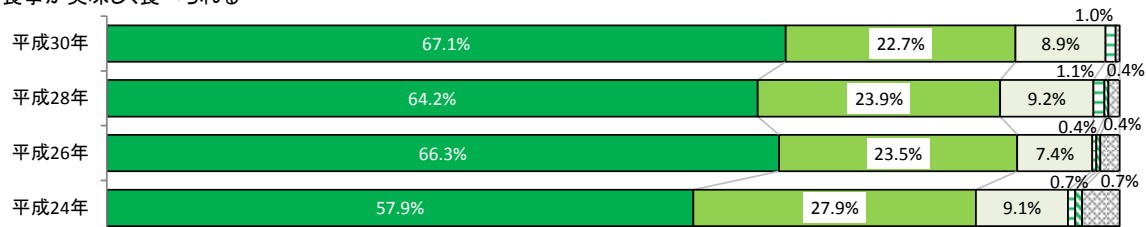
③気持ちにハリがある



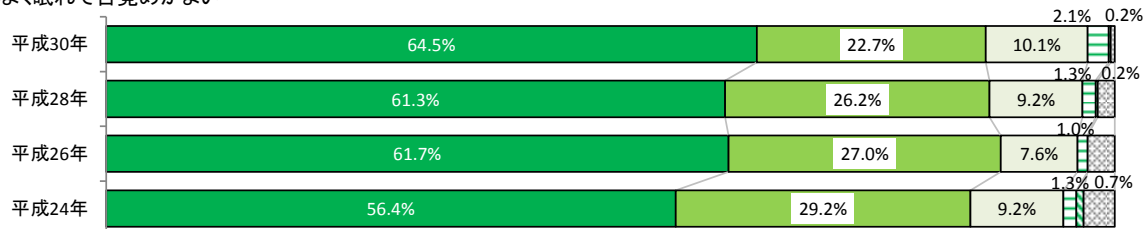
④悩みやストレスが少ない



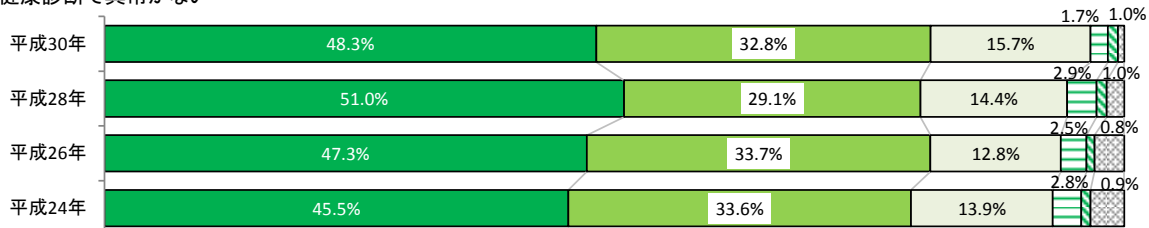
⑤食事が美味しく食べられる



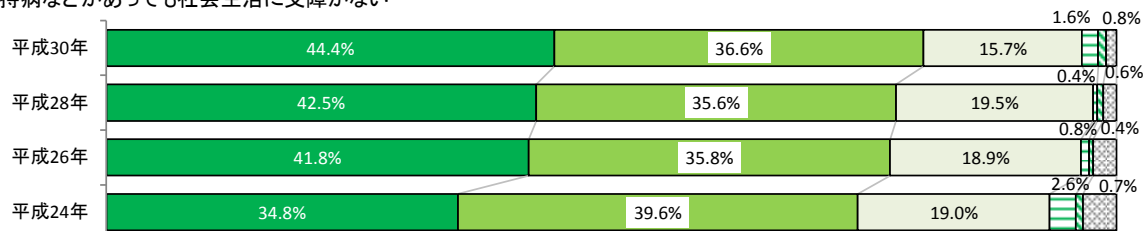
⑥よく眠れて目覚めがよい



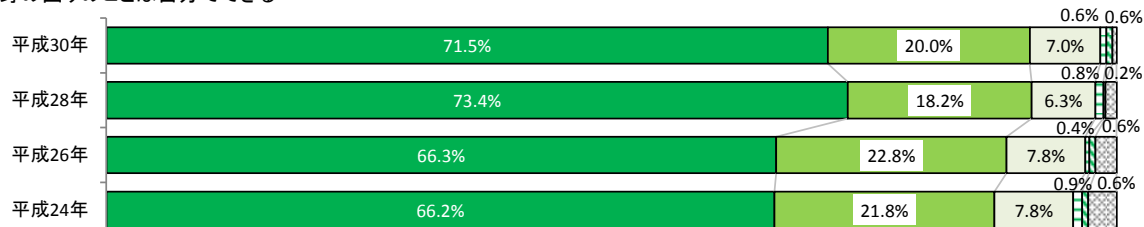
⑦健康診断で異常がない



⑧持病などがあっても社会生活に支障がない



⑨身の回りのことは自分でできる

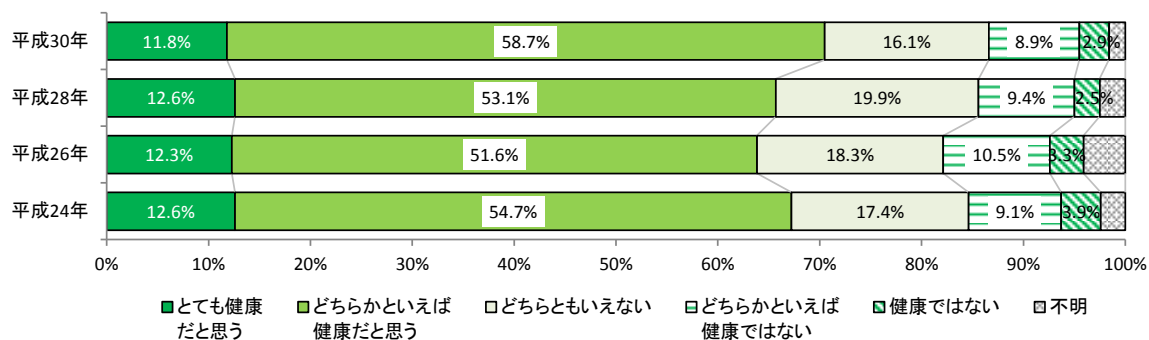


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■重要 ■やや重要 □どちらでもない □あまり重要でない □重要ではない □不明

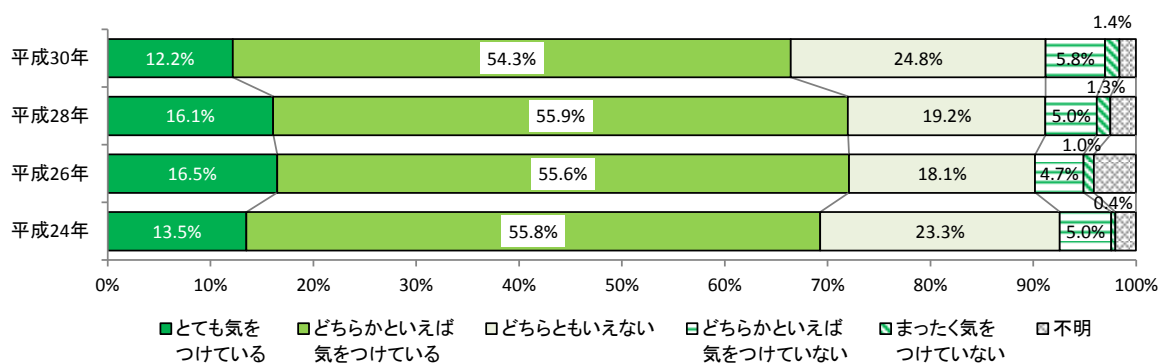
健康感

自分の健康について、「とても健康だと思う」と答えたのは11.8%で、「どちらかといえば健康だと思う」の58.7%と合わせて70.5%。前回調査から4.8ポイント増加しており、過去3回調査と比べて最も高かった。



健康に気をつけているか

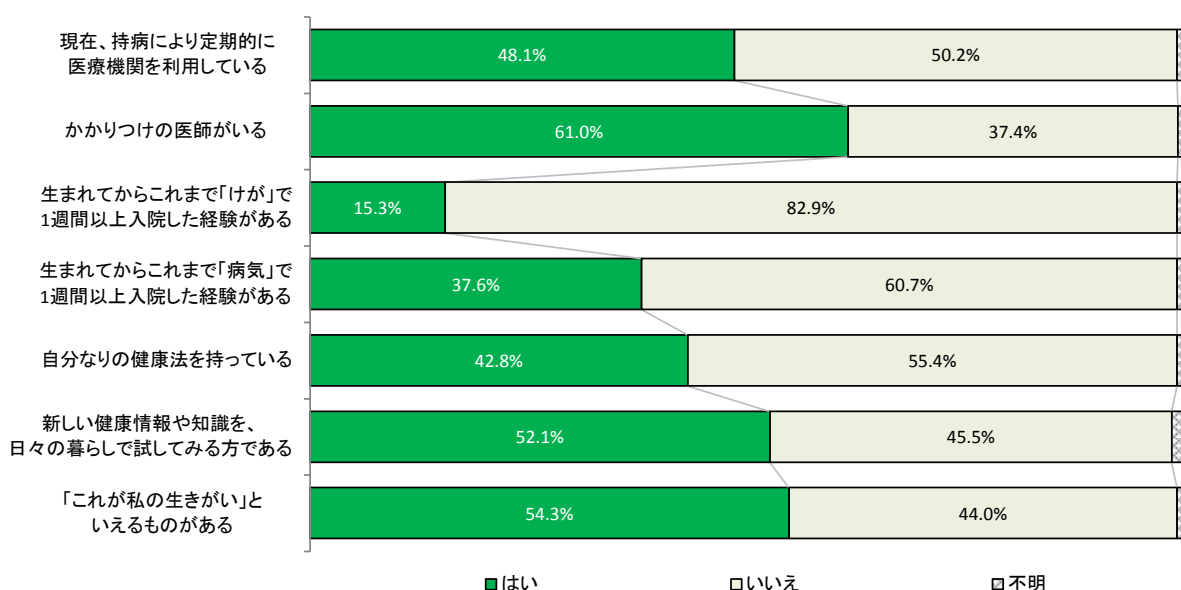
健康に気をつけているか聞いたところ「とても気をつけている」は12.2%で「どちらかといえば気をつけている」は54.3%。前回調査と比べて「気をつけている」全体では5.5ポイント減少しており、これまでの調査で最も低い。「全く気をつけていない」は1.4%、「どちらかといえば気をつけていない」は5.8%だった。



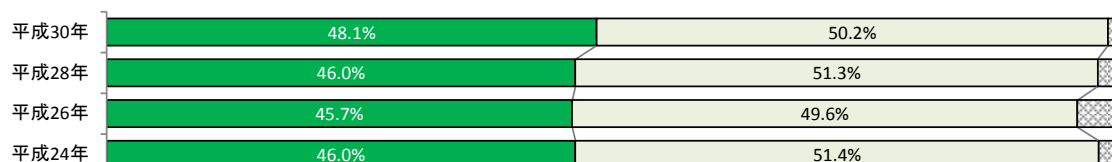
健康状態と意識

健康状態や意識について、7項目にわたり「はい」「いいえ」で聞いた。「はい」が最も多かったのは「かかりつけの医師がいる」の61.0%、次いで『これが私の生きがい』といえるものがあるが54.3%、「新しい健康情報や知識を、日々の暮らしで試してみる方である」が52.1%で、3項目が半数を超えた。

前回調査と比べると「かかりつけの医師がいる」は2.2ポイント、「新しい健康情報や知識を、日々の暮らしで試してみる方である」は5.5ポイント増加しているが、『これが私の生きがい』といえるものがある」は3.7ポイント減少した。



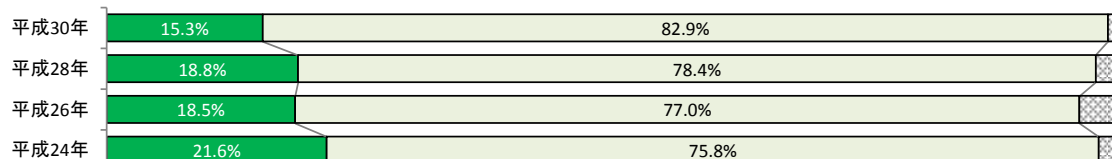
①現在、持病により定期的に医療機関を利用している



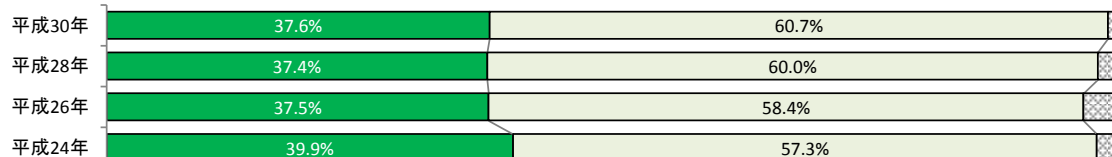
②かかりつけの医師がいる



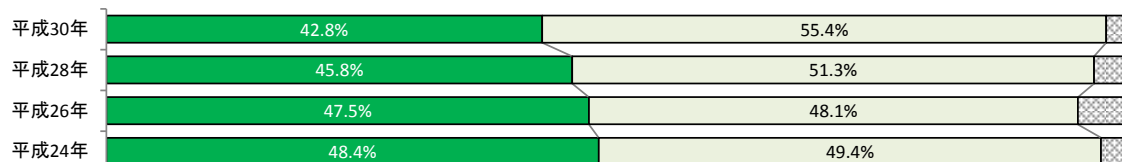
③生まれてからこれまで「けが」で1週間以上入院した経験がある



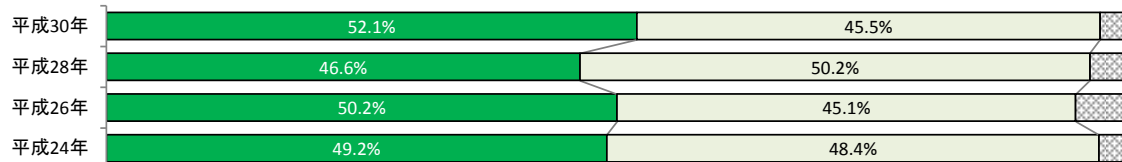
④生まれてからこれまで「病気」で1週間以上入院した経験がある



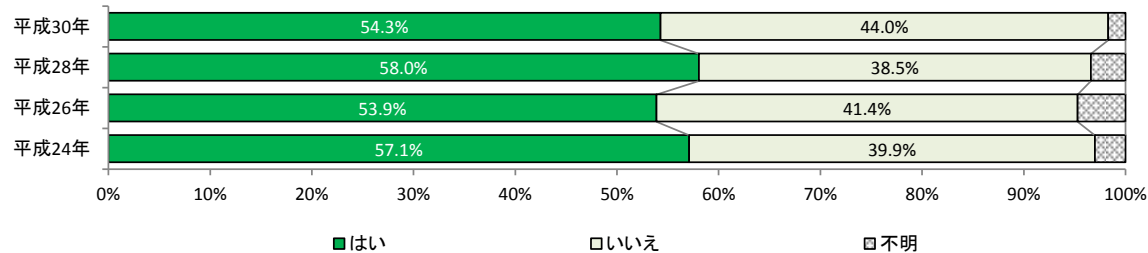
⑤自分なりの健康法を持っている



⑥新しい健康情報や知識を、日々の暮らしで試してみようとする方である

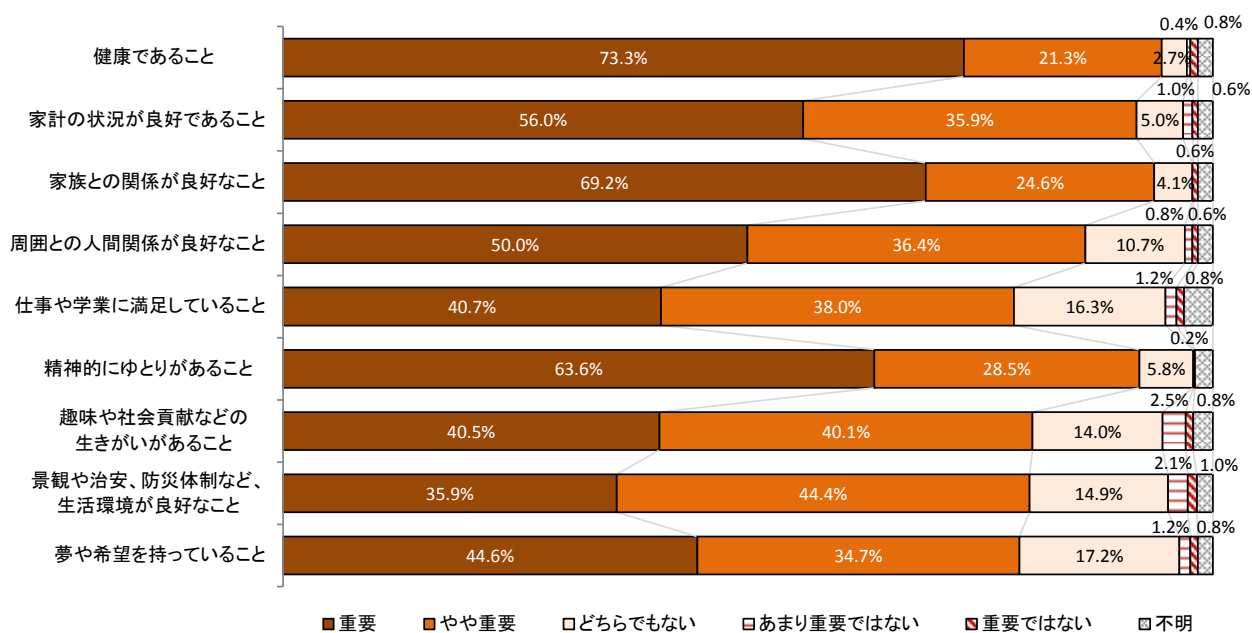


⑦「これが私の生きがい」といえるものがある

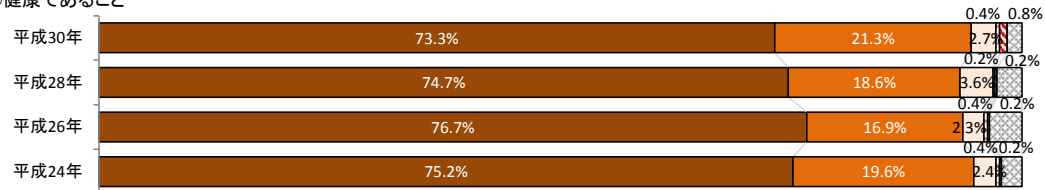


幸福感を判断するとき重要なこと

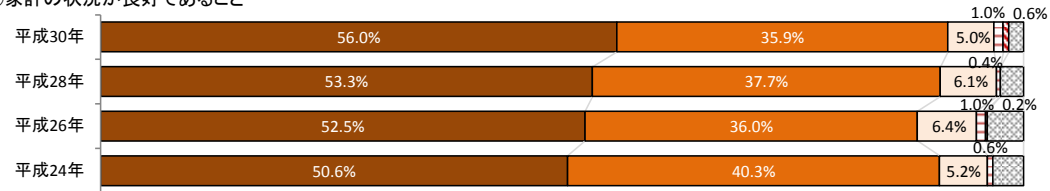
幸福感を判断するとき重要なこととは何か、9項目について尋ねた。「重要」と「やや重要」の合計が最も高かったのは「健康であること」の94.6%で、「家族との関係が良好なこと」が93.8%、「精神的にゆとりがあること」が92.1%、「家計の状況が良好であること」が91.9%で、上位4項目が9割を超えた。前回調査と比べて「景観や治安、防災体制など、生活環境が良好なこと」が5ポイント増加した。



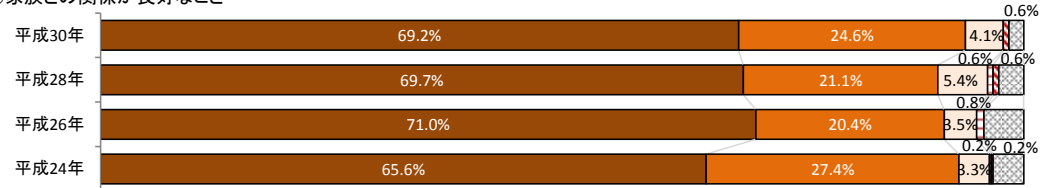
①健康であること



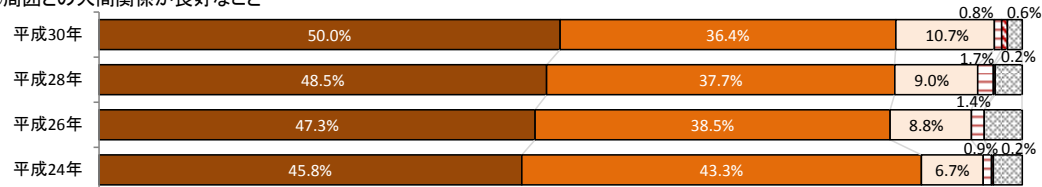
②家計の状況が良好であること



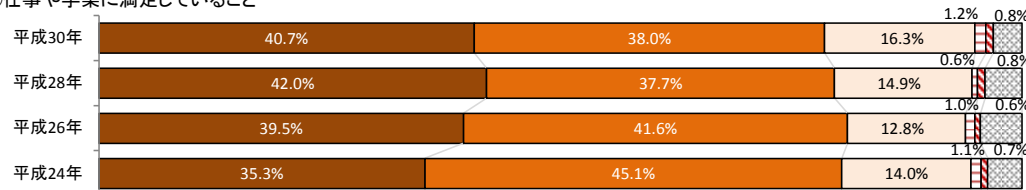
③家族との関係が良好なこと



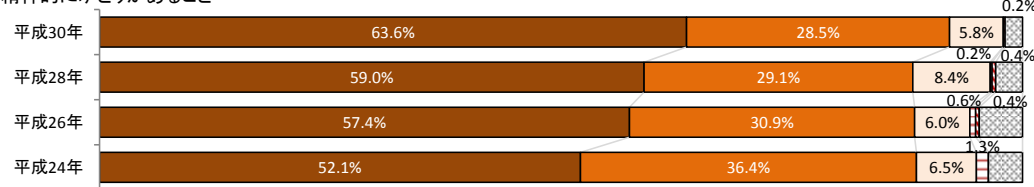
④周囲との人間関係が良好なこと



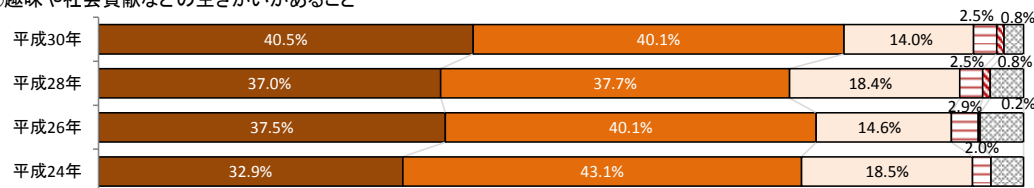
⑤仕事や学業に満足していること



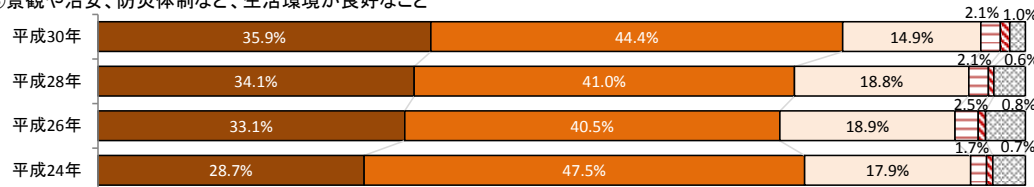
⑥精神的にゆとりがあること



⑦趣味や社会貢献などの生きがいがあること



⑧景観や治安、防災体制など、生活環境が良好なこと



⑨夢や希望を持っていること



■重要 ■やや重要 □どちらでもない □あまり重要でない ■重要ではない □不明

幸福感

現在幸せだと「大いに思う」と答えたのは16.5%で、「思う」は56.0%。合わせて72.5%が幸せだと回答した。前回調査より「大いに思う」「思う」全体で1.8ポイント増加し、これまでの調査で最も高かった。「大いに思う」は微増傾向が続いており、平成24年度調査から2.5ポイント増加した。

